

【概要】

米国：ジョージフロイド、ブレナテイラー、トニーマクデードが警察に殺害された後、企業の幹部による人種差別反対の発言相次ぐ

2020年5月25日、ミネアポリスの白人警察官 Derek Chauvin はジョージ・フロイドを地面に押さえつけて、フロイド氏の首に8分46秒膝を押しつけ続け、最終的に彼を殺害しました。他にも3人の警察官が関与していました。4人の警察官全員がミネアポリスの警察署によって解雇され、Derek Chauvin は殺人と過失致死の罪で起訴されました。

ジョージ・フロイドの殺害に先立って、ケンタッキー州の26歳のアフリカ系アメリカ人、緊急治療室技術者であるブレナ・テイラーが自宅で警察に殺害され、フロリダ州の黒人トランスマン（女性から男性への性転換者）であるトニー・マクデードが殺害されました。警察によるジョージ・フロイド、ブレナ・テイラー、トニー・マクデードの殺害は、黒人アメリカ人に対する警察の残虐行為のさまざまなパターンの一部であり、多くの場合、加害者は責任を問われていません。米国の人口の13%しか占めていないにもかかわらず、黒人のアメリカ人が警察に殺害される可能性は、白人のアメリカ人の2.5倍です。（NPRのコードスイッチは、2014年以降に米国で警察によって殺された黒人の名前の（包括的ではない）[リスト](#)を作成しています。）

黒人に対する体系的な人種差別と警察の残虐行為に対する抗議、そして正義、説明責任、および公平性を支持する抗議が米国中に広がっています。さらに、600を超える組織が、米国における警察の暴力に関する人権理事会の特別会議を要請する書簡に署名しています。

シティ、ネットフリックス、ナイキ、ツイッターなどの企業の幹部は、人種差別に反対する声明を発表しており、ブラックライブマター運動への支持を表明している人もいます。Slack社のCEOは、同社の四半期ごとのEarnings call（電話やWebcast（インターネット会議システム）を使った、投資家向けの収支報告）を利用して、黒人の声を拡散し、暴力と無関心の両方を非難することを約束しました。これらの声明と企業による行動についての詳細は他にも以下のようなものがあります。

[The Plug](#) の Sherrell Dorsey は、ハイテク企業が出した人種差別に対する声明のリストを収集し整理しています。完全なリストは[こちら](#)、インフォグラフィックは[こちら](#)にあります。

UOMA ビューティの創設者兼CEOである Sharon Chuter は、ブランドグループ全体に呼びかけ、社内でリーダーシップを発揮している黒人従業員の人数を共有する「プルアップまたはシャットアップ」キャンペーンを開始しました。

<関連 News>

◆米国：人種および警察の不正行為に関するCEOの声明は重要だが、今は法律を通過させるための企業の政治力が必要とされている

公開日：6月30日

◆Amazon、警察によるレコグニション（顔認証ソフトウェア）の使用を停止；Access Now（アクセス・ナウ/世界中の人々のデジタル権利を擁護し拡大する活動をする非営利団体）はAmazon社内に人権チームの設立を求める

公開日：2020年6月12日

◆UOMA ビューティーの創設者兼 CEO である Sharon Chuter は、「プルアップまたはシャットアップ」キャンペーンの実施により、ブランドの責任ある姿勢を表明

公開日：2020年6月10日

◆IBM は今後顔認識技術を開発せず、CEO はそれを米国の警察が使用すべきかどうかについての対話を求める

著者：Jay Peters, The Verge、発行日：2020年6月9日

◆「プルアップまたはシャットアップ」キャンペーンは美容ブランドにスタッフの多様性（黒人比率）を明らかにするように促します

著者：Chrissy Callahan、発行日：2020年6月8日

◆さらなるテクノロジーの巨人が人種的不正と戦うための資金と声を公約

著者：Sean Keane, Cnet、公開日：2020年6月4日

アップル、フェイスブック、ベライゾン、およびその他のハイテク大手は、先週のジョージ・フロイドの殺害が米国中の抗議を引き起こした後、人種的不正と戦うグループに寄付をすることを誓約

◆アメリカ：労働組合はジョージ・フロイドに対する正義を要求

著者：James Dennis Hoff, Left Voice、公開日：2020年6月3日

Caux
Round
Table